

「女の子の元気が世界を変える力になる－国際 NGO プランの活動」

神奈川同窓会「社会貢献活動」講演会（2016年 3月12日（土）13:00～14:15）



プランジャパン活動報告

演題：「女の子の元気が世界を変える力になる」

講師：佐藤 活朗【さとう いくろう】

公益財団法人プラン・ジャパン 事務局長

2016年3月12日に開催されたサークル協議会成果発表会において、公益財団法人 プラン・ジャパン 佐藤活朗事務局長による講演会が行われた。

行われた。

内容は「女の子の元気が世界を変える力になる－国際 NGO プランの活動」と題して

I. プランとは II. Because I am a Girl 世界の女の子に、生きていく力を III. ネパールでの活動紹介 について話された。

I. では、プランが活動国 51 か国、支援国 21 か国、本部はロンドンにある、国連に登録された国際 NGO であること、政治・宗教に中立を守り、日本では内閣府認定の公益財団法人として、貧困の解決・子どもたちが能力を最大限に発揮できる環境づくりを目指して活動していることが紹介された。

II. 「世界中のマララたち－パキスタン」の動画が紹介され、さらに 6300 万人の女の子が基礎教育を受けられない、2 億 5000 万人は 15 歳未満で早すぎる結婚をさせられている、1 億 3000 万人以上が墮胎などで命を落としている、人身売買にあう子どもは年間約 120 万人で、80%は女の子、など世界の女性／女の子の現状が解説された。さらに読み書きができる女の子が母親になるとその子どもが 5 歳以上まで生き延びる確率が 50%上がる、女の子が 1 年長く中学校に通うと将来の収入は 20%上がる、男性より女性に融資した方が子どもの就学率が上がった、などの実態が紹介された。

III. では、ネパールでプランは 7 つの地域で活動し、1. 保健・衛生の改善 2. 基礎教育の普及と質の改善 3. 世帯収入の増加 4. 子どもの保護と参加促進 などを課題として活動している。ネパールではとくに ○妊産婦・新生児死亡率が非常に高い ○女の子の教育機会が奪われている ○早すぎる結婚をさせられる ○カムラリ（家事使用人）に出される ○人身売買の被害にあう などの女性・女の子の問題があることが解説された。ネパールにおける“早すぎる結婚”は、教育を受けられない、出産・妊娠のリスク、就業機会が減る、自由を失う などの問題があり、“早すぎる結婚”の背景には貧困、知識不足、機能しない法制度、慣習（ダウリー制度）などがあるので、プラン・ジャパンは 2014 年 7 月から 2 年間、早すぎる結婚の防止、早すぎる結婚をした若者の支援 などに重点を置いて、女の子自身の個人の力、保護者や地域住民など周囲の理解と励まし、行政による支援など包括的な取り組みをしている。

またネパール大地震の被害状況についても紹介された。

（記録：石橋正彦）



講演会風景写真

